

■ 自分の感じ方・友だちの感じ方

サッカーの時

「男だったら、ちゃんとボールをパスしろよ。」と男の子のあいだで責められるけど・・・

「男がスポーツ苦手じゃダメなの。」
「女でもスポーツが得意な子もいるし、
そうでない子もいるよ。」

最近、友だちのあいだでは、
ファッションの話題ばかり。

友だちにも「女の子だったら、おしゃれなくちゃ。
一緒に買い物行こうよ。」と誘われるけど・・・

「女の子はおしゃれなくちゃいけないの。」
「男の子だって、おしゃれな子もいるし、
そうでない子もいるのに・・・」

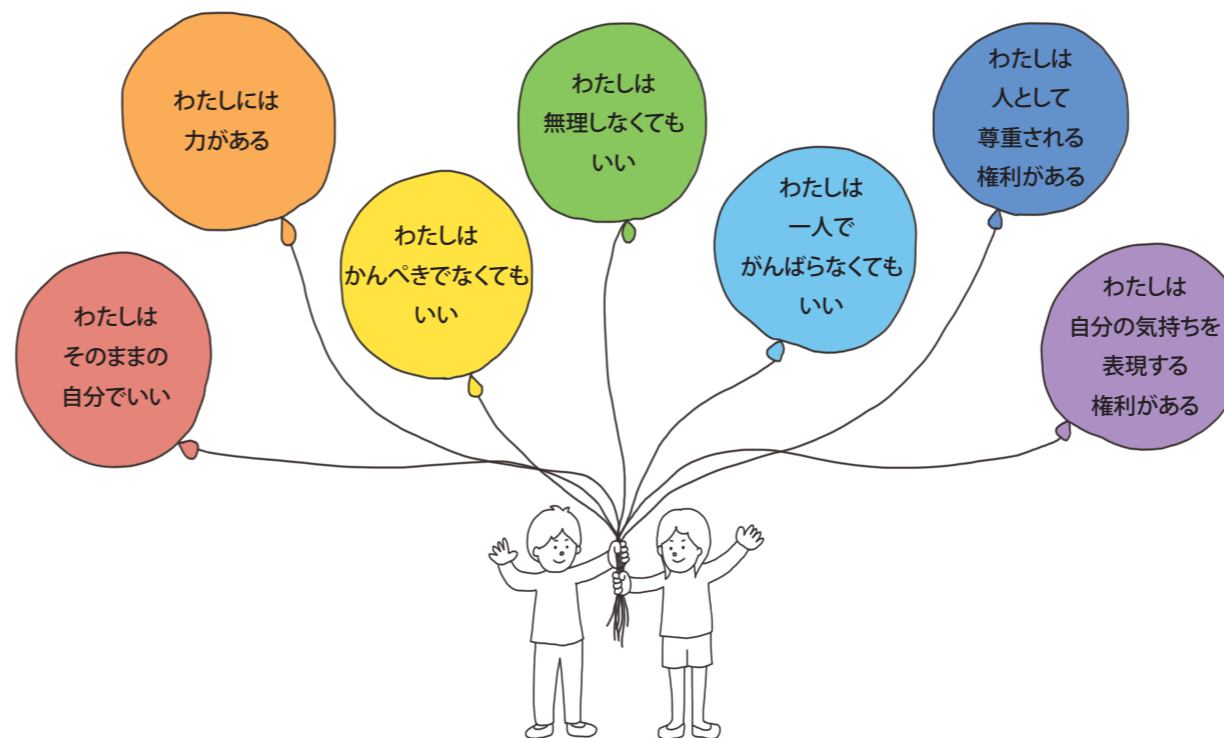
中学生になって、自分が成長したと感ずるところはどこですか。中学生になると、勉強以外にも部活動でスポーツに打ちこんだり、ファッションや音楽にも興味を持ったりするようになります。また、生活の中で両親や先生だけでなく、同世代の友だちの影響を強く受けるようになります。悩みの相談相手にも、大人よりも友だちを選ぶ子が多くなります。

でも、悩みの内容にも友だちに関することが増えてくる時期です。友だちのことを大事だと思う一方で、時には、付き合いに疲れてしまうことがあるかもしれません。また、友だちと意見や感じ方が少しちがうかな、と思っても言い出せないことがあるかもしれません。

また、スポーツやファッションなど世界が広がるにつれ、今までとちがうかたちで「男らしさ」「女らしさ」を意識することもあるかもしれません。中学生は、ものの考え方・感じ方が移り変わっていく時期です。いま、たった一つの考え方・感じ方に決めてしまう必要はありません。周りを見回して、いろいろなタイプの友だちと話してみたり、大人や先輩の意見も取り入れたりしながら、自分で考えていきましょう。

■ 自分を大切にしてみよう

周りの友だちと自分をくらべて、自分には値打ちがないと思ってしまうことはありませんか。また、周りとちがってはだめだ、と思いませんか。自分を守るための言葉があります。



■ おたがいを大切にするために

友だちとのかかわりの中で、あなたはどんなことを感じますか。

- ・友だちに強く意見を言いすぎて、ときどき相手に押し付けてしまっているかな。
- ・本当は友だちとちがう考えを持っているのに、いつのまにか相手に合わせすぎてしまう。
- ・自然に接したいのに、「女の子」「男の子」ということを意識しすぎてしまって、どうしたらいい。

うまく自分の気持ちを言えない時、まずは自分の考えを言葉にしてみましょう。ありのままの考えや気持ちに「正しい」「間違っている」ということはありません。よくないのは、自分の気持ちに気づかず、いつのまにか相手を傷つけるような表現をすることです。

自分も周りの友だちも同じように認め合うことが、おたがいを大切にする第一歩です。

「男の子らしく」「女の子らしく」でなく、「自分らしく」生きること、

そして、おたがいに認め合うことは、これから大人になるみなさんにとって、とても大切なことです。